

技術開発実施報告・計画

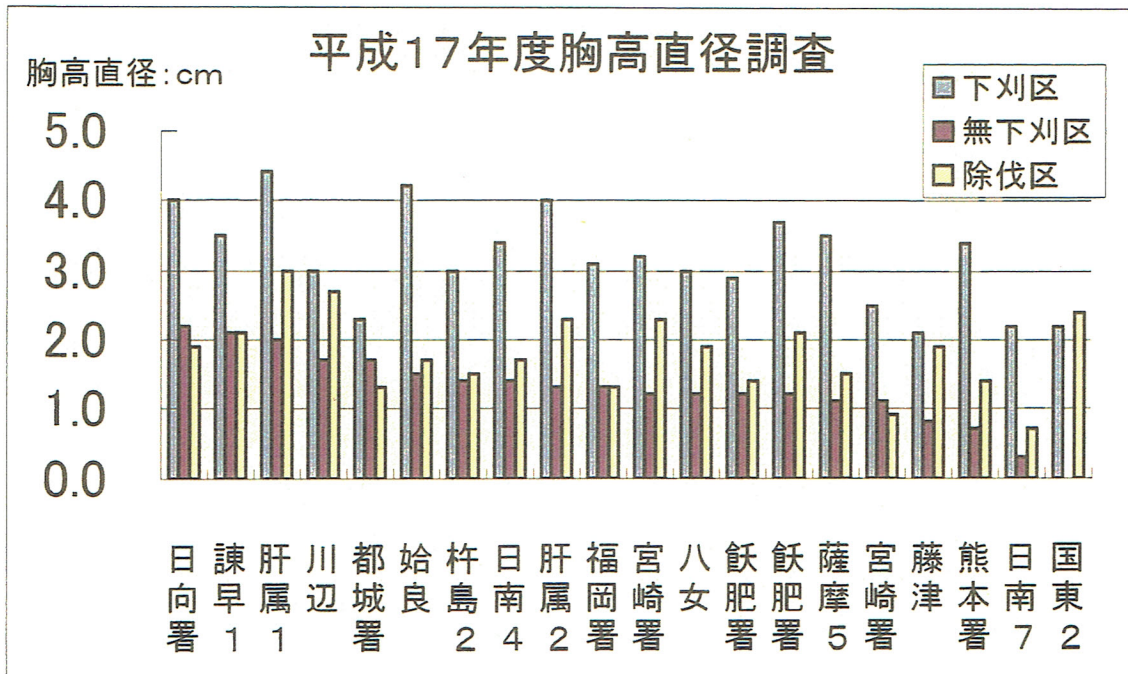
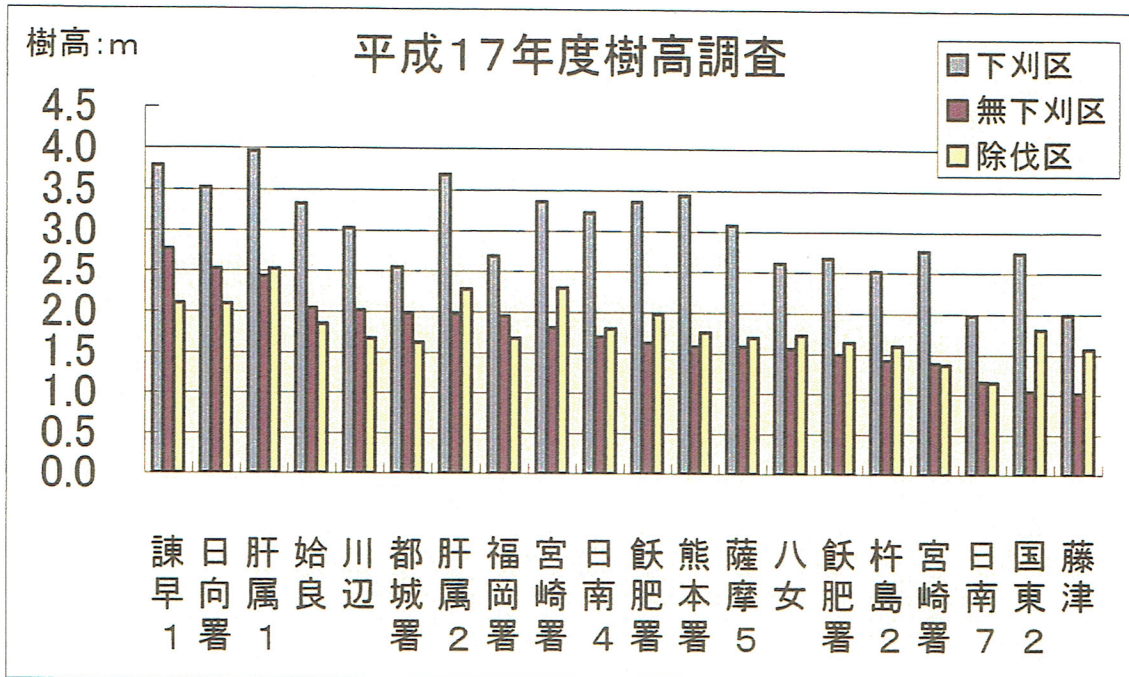
様式 2

森林技術センター

課 題	33 耐陰性スギ系統による無下刈試験				開 発 期 間	平成10年度～平成20年度				
開 発 箇 所	去川国有林 267ぬ。林小班	担 当 部 署	森林技術センター	共 同 研 究 機 関	林木育種センター 九州育種場	技 術 開 発 目 標	3	特 定 区 域 内	特 定 区 域 外	○
開 発 目 的 (数 値 目 的)	人工被陰施設（寒冷紗）で生育良好な苗木を植栽し無下刈試験林を設定。生育過程等を解明（実証）する。									
年 度 別 実 施 報 告	17年度 実 施 報 告					18年度 実 施 計 画 書				
	実 施 内 容					普 及 指 導				
平成10年度 ①地拵え・植付②調査プロット設定 ③設定時調査（根元径・樹高・枝張り） ④試験地標示 平成11年度 ①下刈・無下刈②生長量調査（根元径・樹高・枝張り）③枯損調査 平成12年度～平成15年度 ①下刈・無下刈②つる切③生長量調査（根元径・樹高・枝張り）④枯損調査 平成16年度 ①除伐②つる切③生長量調査	1 生長量調査 2月 人工数：4,500人 2 試験地管理（枝落とし）3月 人工数：6,000人					下刈作業を終了し、家系別の耐陰性が判明つつある。今後もデータ収集に努め、より高い精度を究明する。 平成17年度流域管理システム推進発表大会で本課題を発表した。				
技術開発委員会における意見										

- (注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標（九州森林管理局長通達）」の1～5のうち、該当する目標の番号を記入すること。
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

耐陰性スギ系統による無下刈試験



耐陰性スギ系統による無下刈試験

